

学位論文審査結果の要旨

博士課程 甲・乙	第 421 号	氏名	坂元 紀陽
審査委員		主査氏名	中村都英
		副査氏名	加藤文司
		副査氏名	伴岡寛章
[論文題名]			
Adrenomedullin does not contribute toward the development of abdominal aortic aneurysm in mice (Health, accepted) (英文題名)			
腹部大動脈瘤形成におけるアドレノメデュリンの役割 (日本語題名)			
[要旨]			
<p>腹部大動脈瘤は動脈硬化を基盤に進展すると推測されるが、その明らかな発生機序については不明な点も多い。アドレノメデュリンはヒトおよびマウス等のげっ歯類の組織中に広く分布し、血管保護作用があると報告されているが、AMが抗線維化作用を有していることから、腹部大動脈瘤の進展に寄与している可能性も示唆される。本実験は腹部大動脈瘤モデルマウスを用いて、腹部大動脈瘤進展におけるアドレノメデュリン (AM) の役割について検討したものである。普通食で飼育した12週齢の雄のアポリポプロテインEノックアウトマウス及びアポリポプロテインEノックアウトマウスにAMヘテロノックアウトも加えたダブルノックアウトマウスを作成し、両群にアンジオテンシンII (1000ng/Kg/min)を28日間投与し、腹部大動脈瘤発生率を検討した。更に同モデルのアポリポプロテインEノックアウトマウスにリコンビナント human AM (300ng/Kg/Hr、3000ng/kg/hr)を投与し、それぞれの群について、腹部大動脈瘤発生について検討した。アポリポプロテインEノックアウトマウス及びAMヘテロノックアウトにおいても、またアポリポプロテインEノックアウトマウスにリコンビナント human AMを投与した群においても腹部大動脈瘤の発症率に有意な差を認めず、本研究においてAMは腹部大動脈瘤進展に関与しない可能性が示された。</p>			